

町田市立学校個別施設計画 ～学校整備計画編～



町田市立町田第一中学校 2021年度新校舎完成

2021年5月
(2025年5月改訂)

町田市教育委員会

町田市立学校個別施設計画 ～学校整備計画編～

目次

1. 学校整備計画編策定の背景

2. 学校整備計画編の位置づけ

- 2-1 「町田市立学校個別施設計画」との関係
- 2-2 「町田市新たな学校づくり推進計画」との関係
- 2-3 「町田市立学校 施設機能別整備方針」との関係

3. 学校整備計画編の概要

- 3-1 「町田市立学校 施設機能別整備方針」との関係
- 3-2 学校整備内容と計画表
 - (1) 建替え・増築
 - (2) 長寿命化改修(機能向上)
 - (3) リニューアル工事
 - (4) 中規模改修(機能回復)
 - (5) 校舎外部及び設備機器等改修(部分的な機能回復)
 - (6) バリアフリー化

「町田市立学校個別施設計画 ～学校整備計画編～」について

1. 学校整備計画編の背景

町田市立学校個別施設計画（以下、「学校個別施設計画」という。）は、2018 年度に策定した町田市公共施設再編計画に基づき、老朽化の進む学校の建替えや改修工事を計画的に行うため、学校施設の老朽化状況を整理し、学校ごとに長寿命化改修が可能であるかの評価と学校の建替えや改修などの整備に関する考え方についてまとめ、2021 年 3 月に策定しました。

「町田市立学校個別施設計画 学校整備計画編」（以下、「学校整備計画編」）は、「町田市新たな学校づくり推進計画」（以下、「推進計画」という。）及び「町田市立学校 施設機能別整備方針」に基づき、学校全体の老朽化状況と統合が可能な学級数になる時期を踏まえた上で、学校の建替えや改修工事の時期などの具体的な内容をまとめ、2021 年 5 月に策定しました。

しかし、「推進計画」の策定後、町田市立小・中学校の児童・生徒数の予想を上回る減少や学校施設整備費の高騰といった環境変化が生じ、このような中でも適正規模・適正配置と教育環境の整備を着実に推進していくため、「推進計画」の一部修正を 2025 年 4 月に行いました。

この「推進計画」の一部修正に伴い、整備する地区の優先順位等が変更になったため、「町田市立学校個別施設計画～学校整備計画編～」についても事業費や建替え時期などを改訂します。

2. 学校整備計画編の位置づけ

2-1 「学校個別施設計画」との関係

表 1. 学校個別施設計画と学校整備計画編の関係性

項 目	学校個別施設計画	学校整備計画編
計画の内容、関連性	これまでの経過、上位計画との関連性、老朽化状況の整理、長寿命化改修可能かの学校別評価、学校整備に関する考え方などをまとめたもの。	学校個別施設計画の具体的な学校整備内容として、学校の老朽化状況や「町田市新たな学校づくり推進計画（一部修正）」及び「町田市立学校施設機能別整備方針」に基づき、建替えや改修工事の時期、事業費などをまとめたもの。
策定期期	2021 年 3 月（追補版 2025 年 5 月）	2021 年 5 月（2025 年 5 月改訂）

※学校整備計画編は計画の進捗状況や環境変化に合わせて修正する

2-2 「町田市新たな学校づくり推進計画」との関係

統合に関するもの（対象校、学校の候補地、可能となる時期及び学級数など）は、町田市新たな学校づくり推進計画の内容を踏まえています。

2-3 「町田市立学校 施設機能別整備方針」との関係

町田市立学校における「教育環境・生活環境づくり」「放課後活動の拠点づくり」「市民活動の拠点づくり」を進める上で、施設整備の標準となる「町田市立学校施設機能別 整備方針」に基づき、教室など施設機能別の室数、面積、配置により、施設機能の拡充を図るほか、ICT 環境や放課後活動の充実など、より良い教育環境づくりを施設整備面で実現します。また、新たな学校づくりに必要な機能は確保しつつも延床面積を精査することなどにより事業費の削減を図ります。

3. 学校整備計画編の概要

学校整備計画編は、老朽化の進む学校や統合対象校の建替え、長寿命化改修、リニューアル工事、中規模改修、校舎外部及び設備機器等改修、バリアフリー化工事などを行う計画です。

学校個別施設計画と同じ 2021 年度から 2055 年度までの 35 年間を計画期間として、全体スケジュールと事業費を示すものです。

3-1 全体事業費について

表 2. 全体事業費（2021 年度～2055 年度）

項 目	校数	事 業 費				
		I 期 (2021～2030)	II 期 (2031～2040)	III 期 (2041～2050)	IV 期 (2051～2055)	計
建替え	33	485.9億円	1,541.4億円	1,531.4億円	309.0億円	3,867.7億円
長寿命化改修	3	0.0億円	0.0億円	148.0億円	74.0億円	222.0億円
リニューアル工事	2	30.3億円	29.4億円	0.0億円	0.0億円	59.7億円
中規模改修	28	33.5億円	43.5億円	22.0億円	29.0億円	128.0億円
校舎外部及び 設備機器等改修	—	132.0億円	48.0億円	37.2億円	24.0億円	241.2億円
バリアフリー化	11	13.4億円	11.1億円	0.0億円	0.0億円	24.5億円
全 体	計	695.1億円	1,673.5億円	1,738.6億円	436.0億円	4,543.3億円

※複数年度に跨る工事は工事開始年度の校数とする

3-2 学校整備内容と計画表

(1) 建替え

【工事内容】：学校施設の建替え（統合・単独建替え・移転）

表3. 学校整備計画表（2021年度～2055年度）

時期	建替え 区分	対象校	想定 統合年度	学校候補地	基本計画及び 設計期間	仮校舎 建設期間	工事期間 (解体含む)	新校舎 使用開始	工事期間中の 使用校舎	備考
第1期	統合建替え	本町田東小 本町田小 町三小	2025 2028	本町田ひなた小 (旧本町田東小用地)	2021-24	不要	2025-27	2028	- 既存校舎 既存校舎	
		南二小 南成瀬小	2025	成瀬小 (旧南二小用地)	2021-24	2024	2025-27	2028	- 既存校舎、仮校舎	
		鶴四小 鶴三小(一部)	2026	鶴川中央小 (鶴四小)	2021-22 24-25	不要	2026-28	2029	- 既存校舎	
	単独建替え	南一小	-	-	2022, 2025-26	2025-26	2027-29	2030	仮校舎(南中)	
	統合建替え	鶴二小 鶴三小(一部)	2029	鶴川東小(仮) (鶴二小)	2021-25, 28	不要	2029-32	2033	- 既存校舎 既存校舎	
		町三中 山崎中 本町田小用地	2033	本町田小用地	2026-29	不要	2030-2032	2033	- 既存校舎 既存校舎	
第2期	統合建替え	南四小 南三小	2034	南四小	2026-29	不要	2030-33	2034	仮校舎(南中) 既存校舎	
		小山田南小 小山田小	2035	小山田南小	2026-29	2028-29	2030-2034	2035	仮校舎 既存校舎	
	統合建替え	町六小 高ヶ坂小 南大谷小	2031 第3期に統合	町六小	2027-30	2030	2031-34	2035	- 既存校舎・仮校舎 既存校舎	
		町四小	-	-	2028-30	2030-31	2032-35	2036	仮校舎	
	移転統合建替え	鶴二中 真光寺中	2034	鶴三小及び 鶴二中	2030-33	不要	2034-37	2038	既存校舎 -	
	統合建替え (小中一体型)	成瀬台小 成瀬中央小 成瀬台中	2035	成瀬台小	2031-34 2031-34	2034	2035-38	2039	- 既存校舎、仮校舎 既設校舎	
		堺中 武蔵岡中	2037	堺中	2032-35	2034-35	2036-2039	2040	既存校舎・仮校舎 -	
	統合建替え	相原小 大戸小	2037	相原小	2033-36	2035-36	2037-2040	2041	仮校舎 -	
	移転統合建替え	藤の台小 金井小 金井スポーツ広場	-	金井スポーツ広場	2033年度以降に着手検討					
		単独建替え 町五小	-	町五小						
		単独建替え 町二中	-	町二中						
		忠生三小 木曽境川小	-	忠生三小						
		統合建替え つくし野小 南つくし野小	-	つくし野小						
		統合建替え 忠生中 小山田中	-	忠生中						
		統合 忠生小 図師小	-	図師小						
		統合 鶴一小 大蔵小	-	鶴一小						
推進計画対象外	単独建替え	南大谷中	-	南大谷中						
	単独建替え	町一小	-	町一小						
	単独建替え	町二小	-	町二小						
	単独建替え	鶴間小	-	鶴間小						
	単独建替え	つくし野中	-	つくし野中						
	単独建替え	木曽中	-	木曽中						
	単独建替え	南中	-	南中						
	単独建替え	三輪小	-	三輪小						
	単独建替え	小川小	-	小川小						
	単独建替え	小山小	-	小山小						

【設計・工事期間】

設計	4年(基本計画・基本設計2年、実施設計2年)
工事	4年(解体12カ月、建設25カ月)
合計	8年

※学校敷地内が土砂災害特別警戒区域にあたる場合や、既存擁壁の改修が必要な場合等は、さらに1年程度工事期間の延長を見込む

(2) 長寿命化改修（機能向上）

【工事内容】：建物の骨格以外の内外装を撤去して、大規模な躯体補修やライフラインの更新、教室の配置換えや間取りの変更、新たな教育機能の導入など将来の学習環境への適合を見据えた機能向上を併せた工事

表4. 長寿命化改修の計画表

対象校	基本計画及び設計期間	仮校舎建設期間	工事期間	改修校舎使用開始	工事期間中の使用校舎
鶴川中	「推進計画」第3期完了後に着手予定				
小山ヶ丘小					
小山中央小					

(3) リニューアル工事

【工事内容】：外壁や内装の改修、ライフラインの更新を含む既存校舎のリノベーションや新しい時代の学びを実現するために増築などを行い、学習・生活空間を充実させることで、学習環境の向上と老朽化対策を一体的に進める工事

表5. リニューアル工事の計画表

対象校	想定統合年度	学校候補地	設計期間	仮校舎建設期間	工事期間	工事期間中の使用校舎
金井中	2028	金井中	2025-27	不要	2028-2030	—
薬師中						既存校舎
七国山小	2035	現山崎中	2030-2032	不要	2033-34	既存校舎
山崎小						既存校舎

(4) 中規模改修（機能回復）

【工事内容】：建物や設備機器の維持補修を目的に校舎外回りの改修や設備機器類を更新する工事（防水改修、外壁改修、電気設備機器更新、給排水設備機器更新、空調機器更新など）

表6. 中規模改修の計画表

対象校	設計期間	工事期間	改修校舎使用開始	備考
鶴間小	2019	2020-2022	2023	完了(2022年度)
成瀬台中	2019	2020-2022	2023	完了(2022年度)
町一中体育館	2022-2023	2024-2025	2026	工事中
鶴川中	2022-2023	2024-2025	2026	工事中
	2027	2028-2029	2030	
三輪小	2023	2023-2026	2027	工事中
南大谷中	2026	2027-2029	2030	
小山ヶ丘小	2026	2027-2029	2030	
忠生中体育館	2026	2027-2028	2029	
南成瀬中	2027	2028-2031	2032	バリアフリー工事含む
小山中央小	2030	2031-2032	2033	
小山中	2032	2033-2034	2035	
町一小体育館	2033	2034-2035	2036	
図師小	2033	2034-2035	2036	
南中体育館	2035-2036	2037-2038	2039	
鶴一小	2037	2038-2039	2040	
町一中	2041	2042-2043	2044	

※上記に加えて、建替えを行った学校は21年目以降を目安に中規模改修を計画

(5) 校舎外部及び設備機器等改修（部分的な機能回復）

【工事内容】：建替えや大規模工事までの期間の維持補修を目的とした屋上防水、外壁、設備機器などの改修工事

表7. 校舎外部及び設備機器等改修の計画表

項目	改修工事をする学校数の目安				備考
	I期 (2021~2030)	II期 (2031~2040)	III期 (2041~2050)	IV期 (2051~2055)	
屋上防水	16校	1校	1校	0校	
外壁	6校	1校	1校	0校	
空調	47校	21校	16校	11校	管理諸室、普通教室、特別教室 等
その他の改修	—	—	—	—	老朽化の状況に合わせて改修

※周期目安を15年~20年として計画

(6) バリアフリー化

【工事内容】：児童・生徒、教職員、来校者を含む要配慮者への対応としてエレベータを設置する工事

表8. バリアフリー化工事の計画表

設置年度	対象校	備考
2023-24年度	町二中、南大谷中、鶴二中、真光寺中	完了(2024年度)
2024-25年度	成瀬台中	工事中
2025-26年度	木曽中、小山田中	
2026年度以降	上記中学校の工事完了後、順次小学校の検討着手	

※建替え、長寿命化改修、リニューアル工事を行う学校にはエレベータを設置